

## 全国児童養護施設退所児童自立支援事業 指導記録表

記載例

提出年月日 平成18年 2月 14日

指導回数	指導年月日	償還状況	指導記録	施設長確認年月日
1	平成16年 9月 26日	1・2・3・4・5	入所当時の担当保育士から、本人へ電話で現況確認。前向きに取り組むように言う。元気でやっている様子。 仕事については、考えていたより辛くないが、一人暮らしに若干の不安があるとのこと。	平成16年 10月 2日
2	平成16年 11月 29日	1・2・3・4・5	担当保育士から、本人へ電話で現況確認。仕事が忙しいが、頑張っているとのこと。正月には施設にも遊びに行きたいと言っていた。帰省するのを楽しみにしていると伝えている。	平成16年 12月 5日
3	平成16年 12月 30日	1・2・3・4・5	正月休みの帰省。担当保育士から近況を聞くとともに、社会人として自活していくためのアドバイスをした。	平成17年 1月 10日
4	平成17年 3月 7日	1・2・3・4・5	勤務先から連絡があり、無断欠勤が続いているとのこと。担当保育士が本人のもとへ行き話し合ったものの、仕事を続けていく意欲が無くなっている。職場の厳しい指導についていけなさと話す。この間、何度も電話等で話しをするものの退職となる。	平成17年 3月 9日
5	平成17年 6月 29日	1・2・3・4・5	担当保育士が本人と面会。アルバイトで生活しているものの、自分の将来のことをあらためて考えさせ、ここで頑張るように説得。生活が不安定となっているため、償還が滞っている。	平成17年 6月 29日
6	平成17年 8月 5日	1・2・3・4・5	担当保育士等からの再三の励まし等や就職相談等にもかかわらず、仕事が見つからない。償還も滞っているため、担当民生委員とも相談し、場合によっては、償還猶予も検討していただくこととする。	平成17年 8月 9日
7	平成17年 9月 18日	1・2・3・4・5	アルバイトも不定期となりつつあるため、施設長が本人のもとへ出向き、施設の近隣へ転居させる方向で本人と話し合う。あらためて、本人の自立のための取組みを見直す。 担当民生委員と市社協の担当者との今後の償還について打合わせ、当面再就職に向けての働きかけと償還猶予の申請をする。	平成17年 9月 18日

(注) 償還状況 1 償還計画通り 2 やや遅滞(3ヶ月程度) 3 滞納中 4 支払猶予中  
5 据置中